

4-3.民間路線バス利用者ニーズのまとめ

- ・民間路線バス利用者の主だった改善要望は運行本数や運行時間、施設に関する要望である
- ・運行本数においては、今以上に本数を増やしてほしいことがあげられており、運行時間は定時性に関する要望、施設については、乗り場に屋根を設置してほしい、明るくしてほしいという要望が多い。

5.ヨッピーの現状と利用者ニーズ

5-1.概要

(1) 目的

平成 13 年から運行が開始されて以降、ヨッピー利用者は増加傾向にあるが、乗車料金が 100 円ということもあり、毎年 1,300 万円～2,000 万円の運行補助を行ってきた。

昨年度、開催した四街道市交通問題連絡協議会において、ヨッピーについて運行開始から 10 年目という節目の時期を迎えていることから、運賃等の見直しを検討すべきとの意見が出されたところである。

また、昨年度の事業仕分けにおいて、ヨッピーについて要改善の判定結果を受け、市の対応方針として、改善を図ることを決定したところである。

以上のことから、ヨッピーの改善を図るための基礎的データを入手するため、ヨッピー利用者を対象に 6、10 月の 2 回アンケート調査を実施した。

10 月に実施した調査は 6 月に実施している調査の補完として位置づけた調査である。

(2) 調査内容

項目	6 月調査	10 月調査
①調査日数	平日 2 日 (6/17、27) 休日 1 日 (6/19)	平日 1 日 (10/28)
②調査対象	全便 (右回り 10 便、左回り 10 便)	第二庁舎前バス停留所
③調査方法	車内でのヒアリング	停留所でアンケートを配布 車内に回収袋を設置し、回収
④調査項目	OD 調査、アンケート調査	アンケート調査のみの実施
⑤回収数	454 サンプル	61 サンプル
⑤項目	問 1. 個人属性 (年齢、性別) 問 2. ヨッピーの利用頻度 問 3. ヨッピーの利用目的 問 4. 要望する運行時間帯 問 5. ヨッピーの適正な運賃 問 6. 自由意見	問 1 : バス利用頻度、目的 問 2 : ヨッピーのサービスで改善してほしいこと 問 3 : ヨッピーがなかった場合の交通行動 問 4 : ヨッピー導入による効果 問 5 : ヨッピーの運賃に見直しに対する意識 問 6 : 個人属性 (年齢、性別など) 問 7 : 自由意見

5-2.ヨッピー利用実態

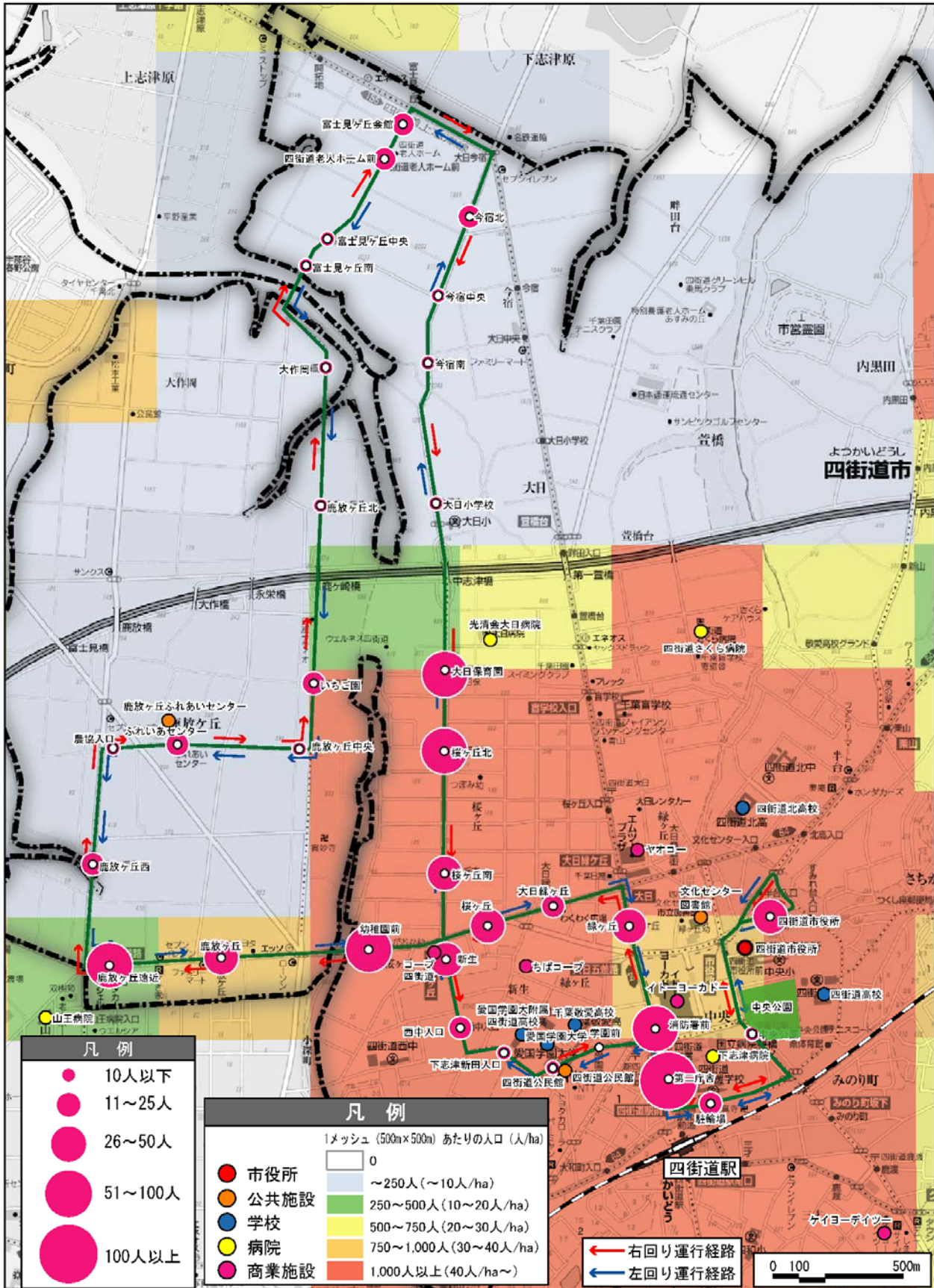
- ・平日の利用者数は、右回り・左回り合わせて、約 260～290 人/日で 1 便当たり 13～15 人/日・便、休日の利用者数は、197 人/日で 1 便当たり 10 人/日・便であった。
- ・利用傾向を見ると左回りより右回りの利用者数が多い。
- ・便別の利用傾向は、朝～昼に運行している 1～5 便までの利用が多く、休日は、朝の 1、2 便と昼間の 4～6 便の利用が多く、それ以外は少ない。

(単位:人)

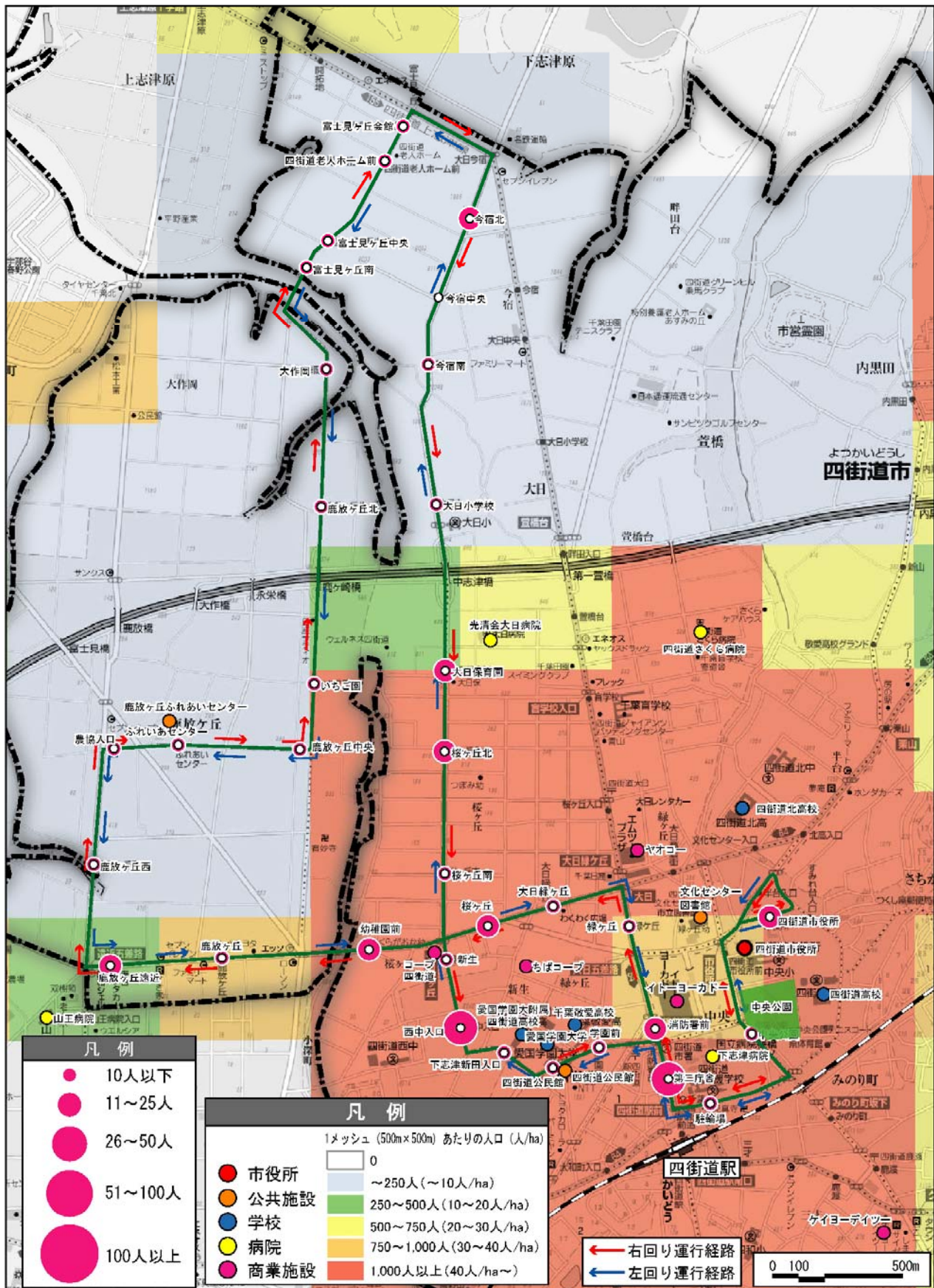
		6月17日(金)	6月27日(月)	6月19日(日)
1便	右回り 7:30-8:16	21	21	6
	左回り 7:40-8:26	15	11	8
2便	右回り 8:31-9:17	21	12	10
	左回り 8:45-9:31	15	12	18
3便	右回り 9:27-10:13	18	19	7
	左回り 9:40-10:26	16	5	8
4便	右回り 10:23-11:09	20	16	23
	左回り 10:36-11:22	9	14	4
5便	右回り 12:29-13:15	24	19	25
	左回り 12:55-13:41	5	9	13
6便	右回り 13:25-14:11	9	7	3
	左回り 14:00-14:46	9	14	15
7便	右回り 14:21-15:07	12	18	5
	左回り 15:02-15:48	15	20	5
8便	右回り 15:20-16:06	8	12	13
	左回り 16:05-16:51	17	19	3
9便	右回り 16:19-17:05	15	11	8
	左回り 17:01-17:47	13	9	8
10便	右回り 17:20-18:06	14	14	6
	左回り 18:04-18:50	16	0	9
計	右回り	162	149	106
	左回り	130	113	91
平均	右回り	16	15	11
	左回り	13	11	9
右左合計		292	262	197
右左平均		15	13	10

停留所別の乗降客数は、平日・休日ともに第二庁舎前での乗降が最も多く、100 人を超え、次いで大日保育園、桜ヶ丘北、桜ヶ丘南、鹿放ヶ丘遠近、四街道市役所、大日保育園、幼稚園前などが続いており、主に市街化区域内での利用が多くなっている。また、鹿放ヶ丘遠近については、山王病院や看護学校が近いために利用者が多いと考えられる。

■乗降者数【平日平均（右回り・左回り計）】

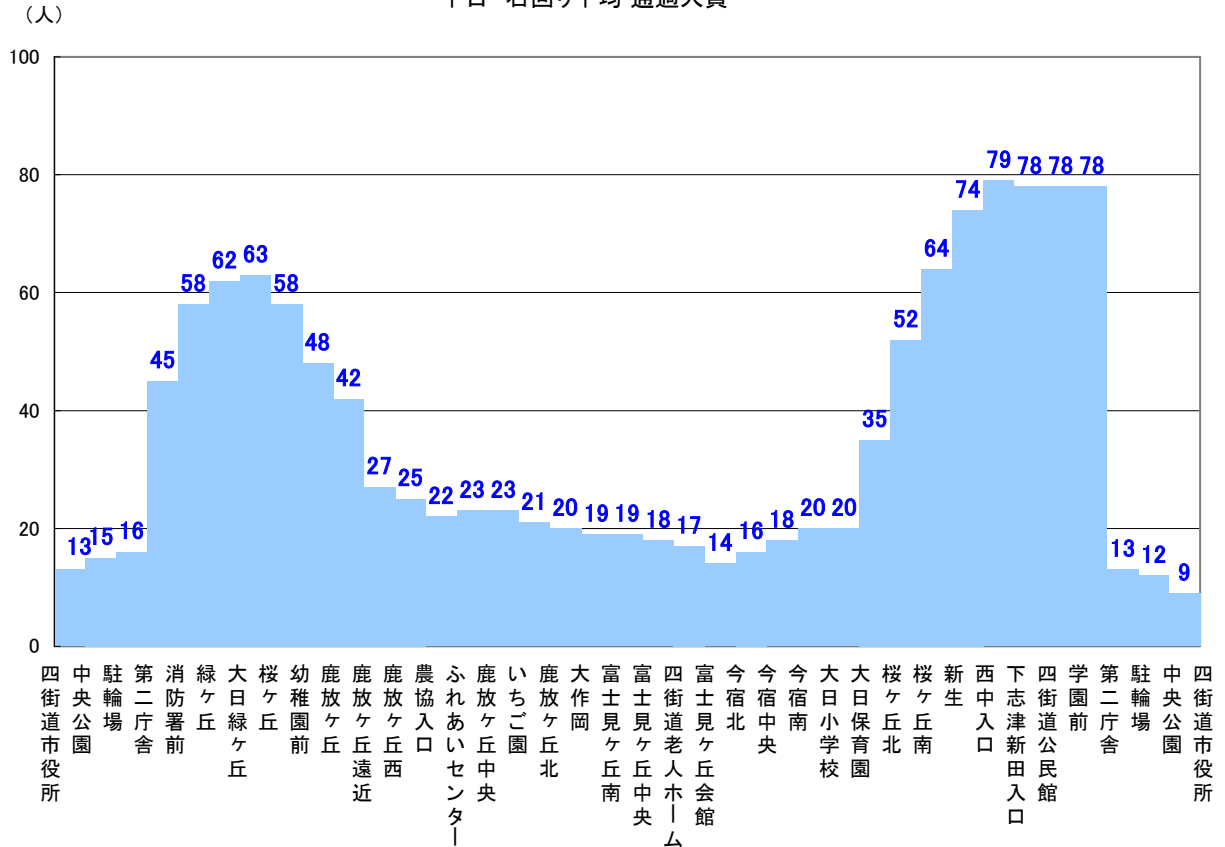


■乗降者数【休日（右回り・左回り計）】

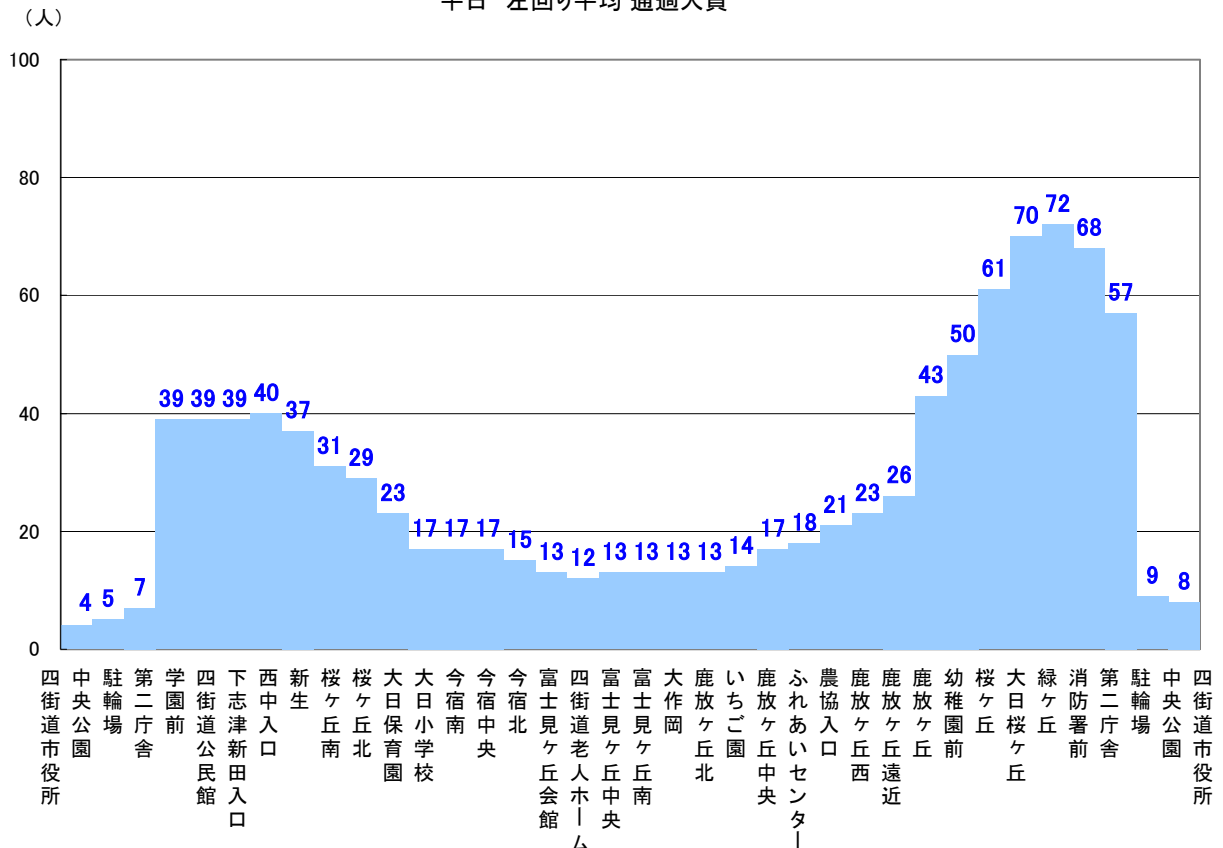


平日（6/17, 27 の平均）の利用区間をみると、『第二庁舎前～大日保育園』、『鹿放ヶ丘～第二庁舎前』といった短い区間での利用が多く、東関東自動車道より北側の地域を起点あるいは終点とするような利用は少ない。

平日 右回り平均 通過人員

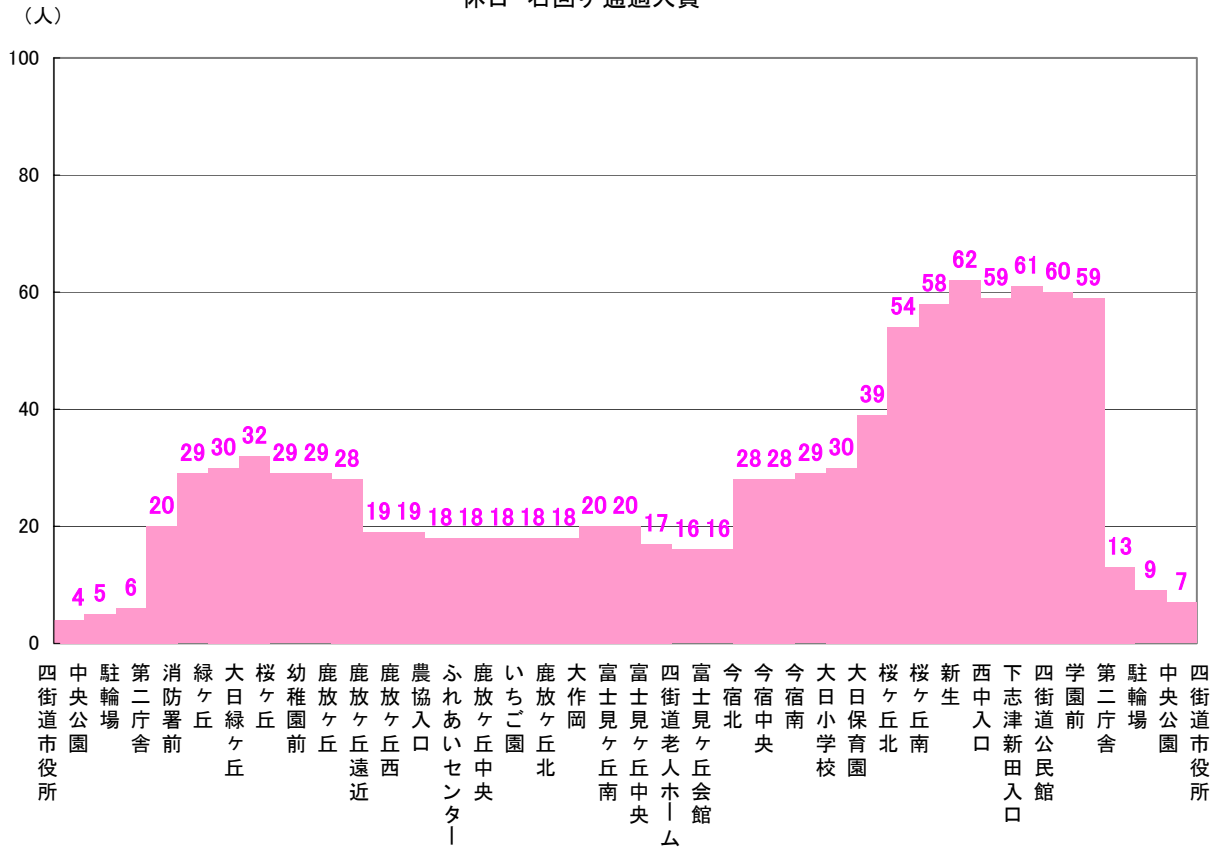


平日 左回り平均 通過人員

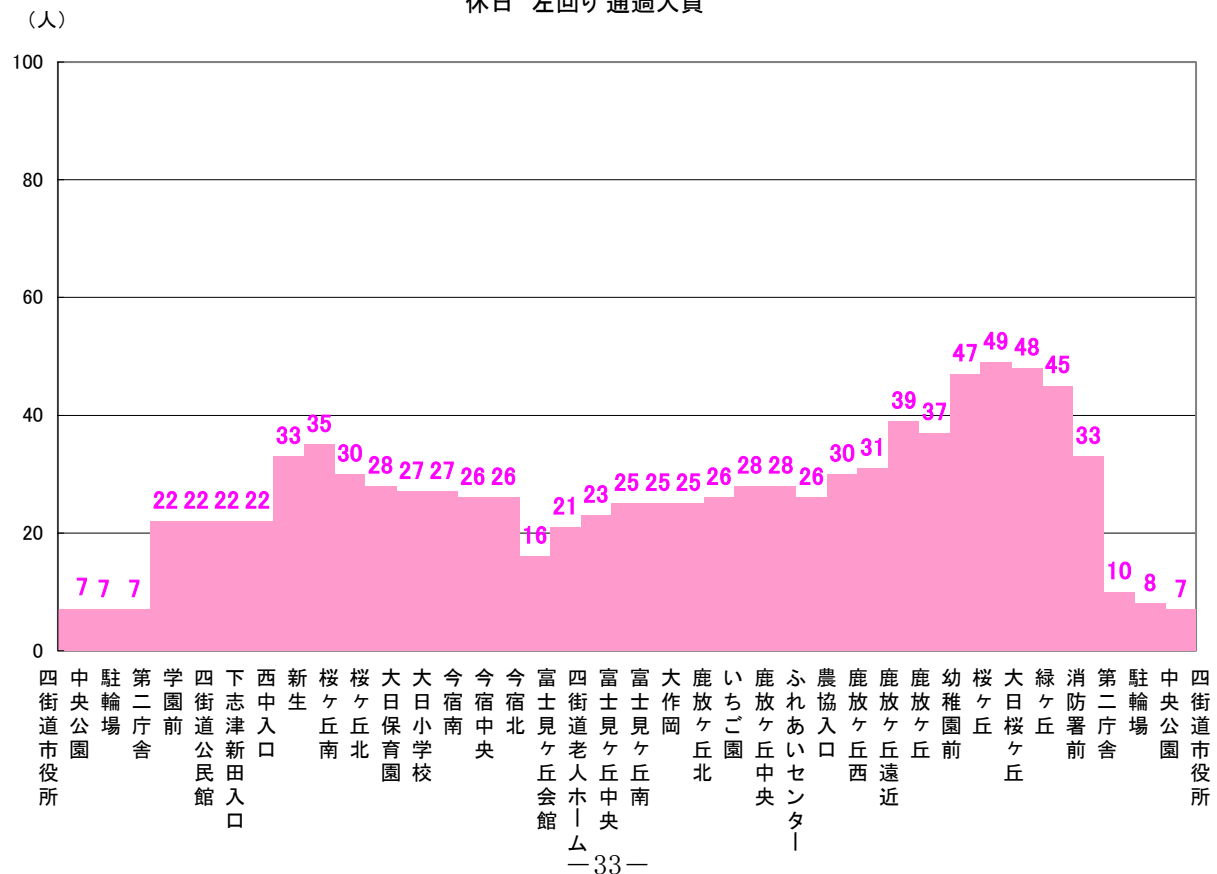


休日の利用区間をみると、平日と同じような傾向にあり、『第二庁舎前～大日保育園』、『鹿放ヶ丘～第二庁舎前』といった短い区間での利用が多く、東関東自動車道より北側の地域を起点あるいは終点とするような利用は少ない。

休日 右回り 通過人員



休日 左回り 通過人員

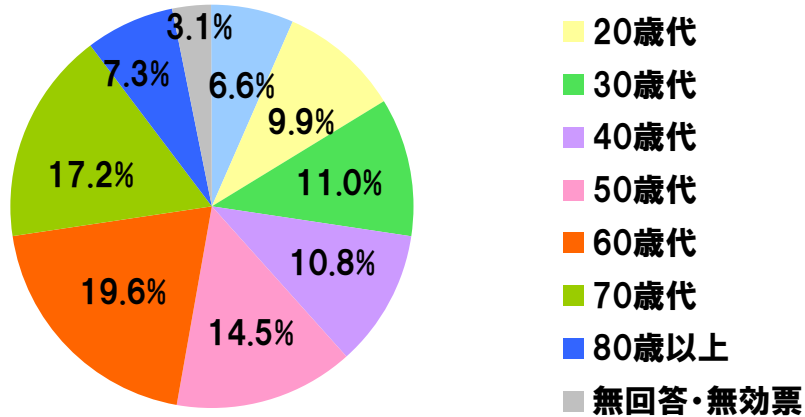


5-3.ヨッピーの利用傾向・意向・ニーズ

(1) 基礎集計

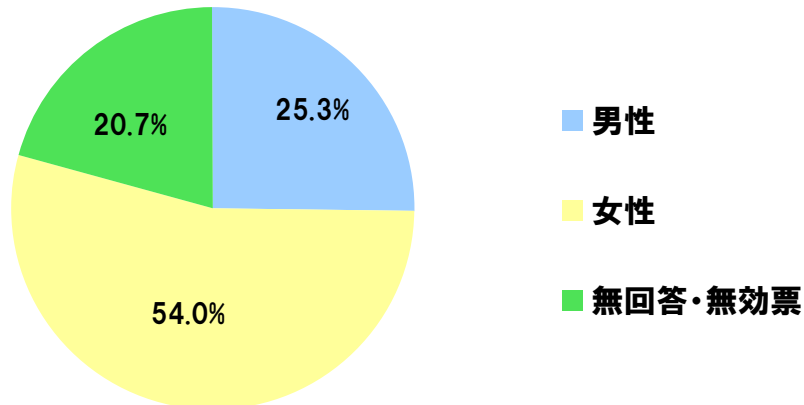
ヨッピーの年代別利用者層は、60歳代が約20%と最も高い割合を占め、次いで70歳代で約17%と高齢者層の利用割合が高い。

年齢別ヨッピー利用者 (N=454)



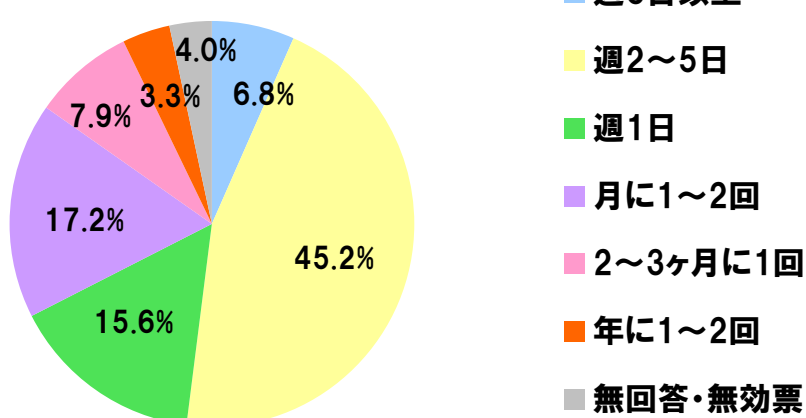
ヨッピー利用者は、女性の利用割合と男性の利用割合を比べてみると、女性が約50%、男性が約25%となっており、利用者は女性が多い。

ヨッピー利用者の性別 (N=454)



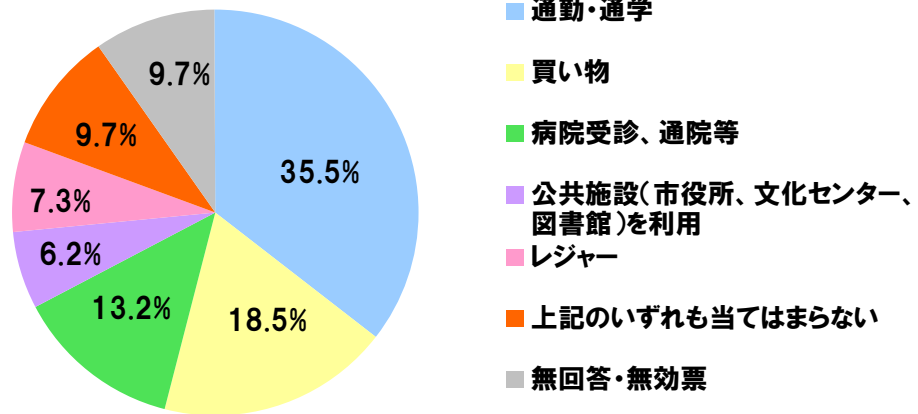
利用頻度について見ると、週2~5日利用割合が約45%と最も高い割合を占め、次いで月に1~2回で約17%となっている。

ヨッピー利用頻度 (N=454)



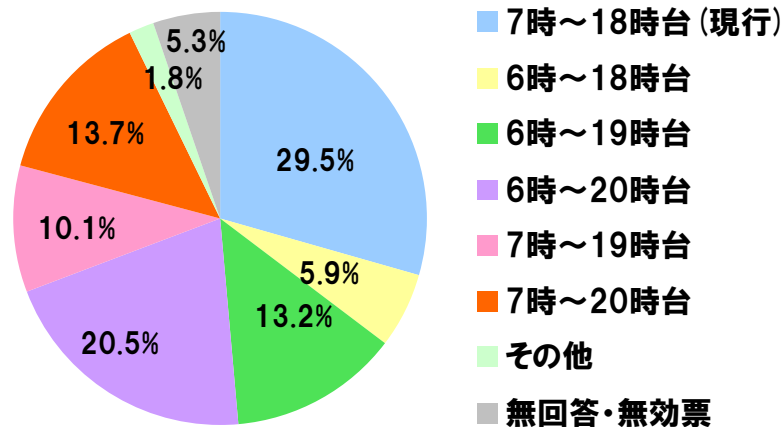
利用目的は、通勤・通学利用が約 36%で最も高い割合を占め、次いで買い物利用で約 19%となっている。

ヨッピー利用目的 (N=454)



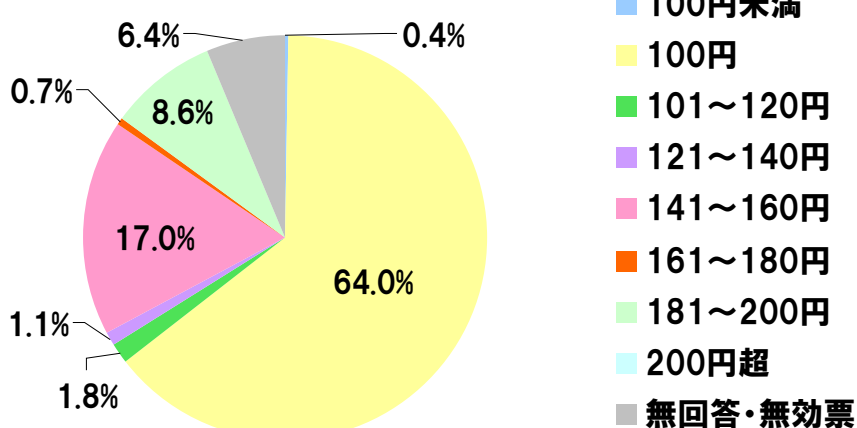
希望する運行時間帯は、7時～18時台の現行通りが約 30%で最も高い割合を占め、次いで6時～20時で約 21%となっている。

ヨッピー運行希望時間帯 (N=454)



ヨッピーの適正な運賃額は、100円が約 64%で最も高い割合を占め、次いで141～160円で約 17%となっている。

ヨッピー乗車料金適正価格 (N=454)



(2) ヨッピー利用者の特性分析

- ・ヨッピー利用者の利用頻度についてみると、通勤・通学など全ての目的において、『週2～5日』利用が最も高い割合を占めている。
- ・特にヨッピーの主たる利用者である高齢者（60歳以上を対象とした。）の利用目的について着目してみると、『買い物』や『病院受診、通院等』が多い。

図 37. 年齢別、ヨッピー利用目的割合

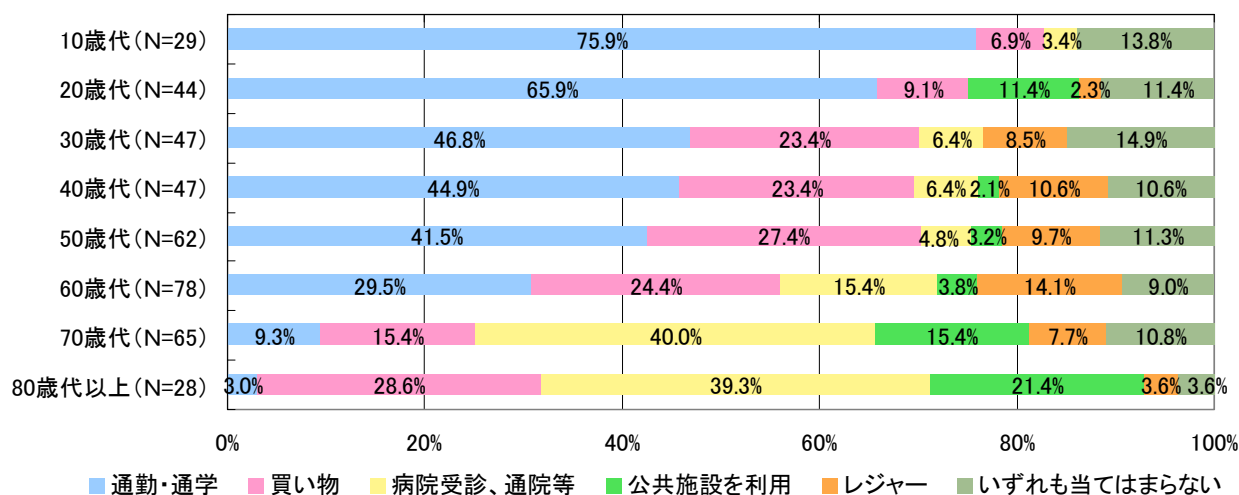
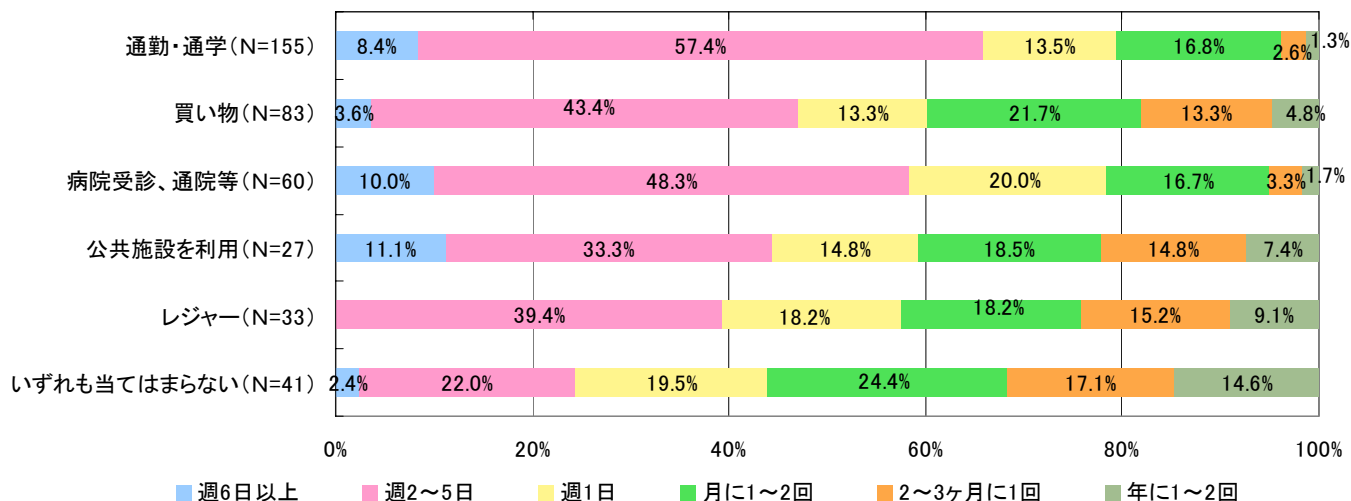


図 38. 目的別、ヨッピー利用頻度



・利用者の特性についてみると、自動車免許証を所持している人が約50%と所持していない人比べて多くなっているが、そのうちの半数は自分で自由に使える自動車を保有していない。

図 39. 自動車運転免許証の所持の有無

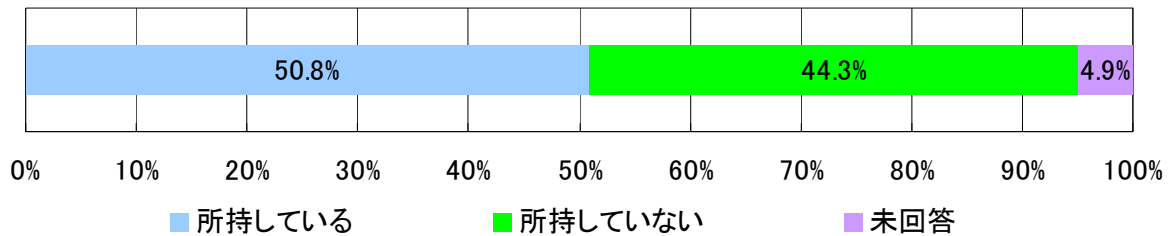
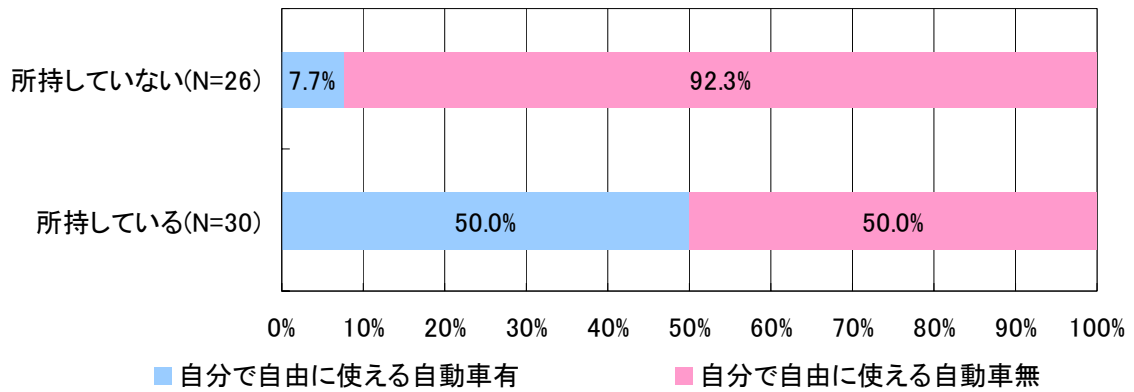


図 40. 自動車免許証の有無と自分で自由に使える自動車の有無との関係



※上記の結果は10月に実施したアンケート調査結果である。

(3) サービス改善に対するニーズ

- ・ 出社・登校時刻が定時に決まっており、帰宅時刻が他の項目と比較して遅くなると考えられる通勤・通学については、6～20 時までの運行を希望している割合が高く、それ以外の買い物や通院等については、7～18 時の現行通りの運行時間帯を希望する割合が高い。
- ・ 利用頻度が週 1 日以上のコピー利用者は、7～18 時の現行通りの運行時間帯を希望する割合が高く、利用回数が少ない人においては、6～20 時までの運行を希望する割合が高い。
- ・ 10 歳代～50 歳代までは、6～20 時までの運行を希望する割合が高く、それ以上の年代については、7～18 時台の現行通りの運行を希望する割合が高い。

図 41. 目的別、運行時間に関するニーズ

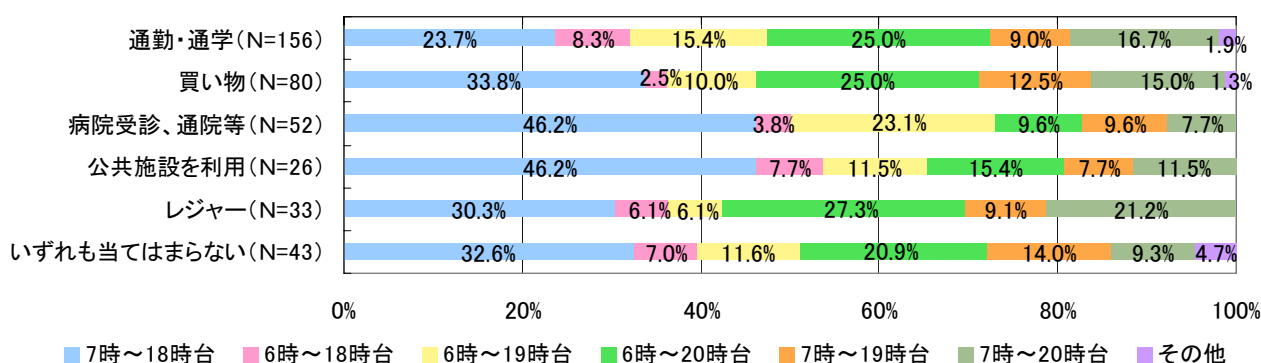


図 42. 利用頻度別、運行時間に関するニーズ

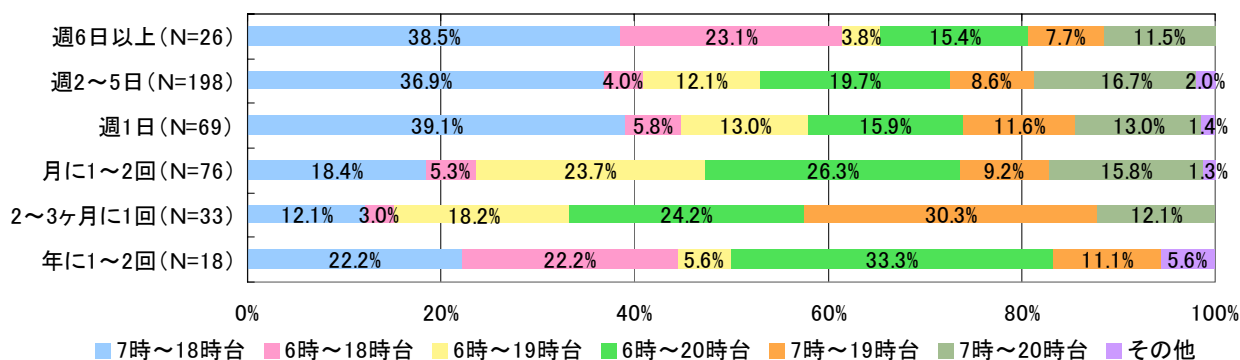
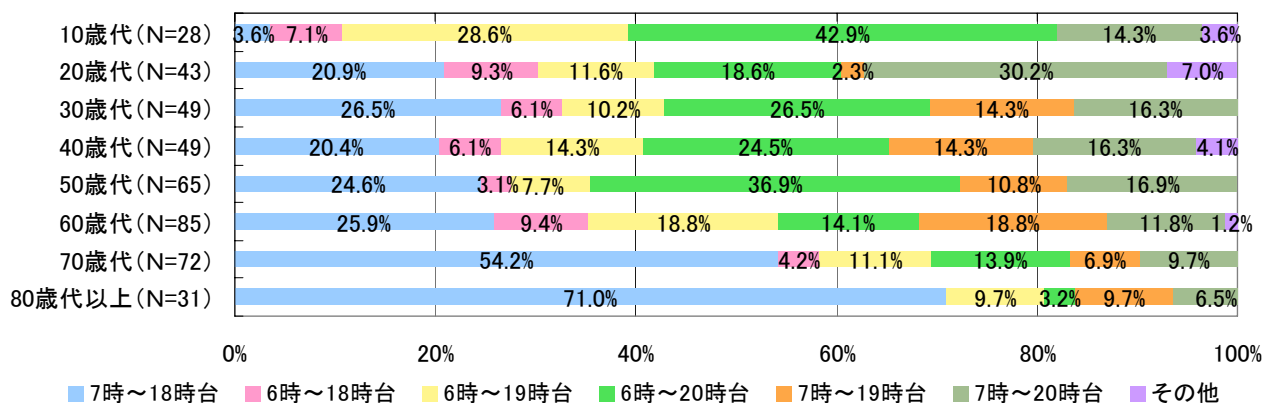


図 43. 年代別、運行時間に関するニーズ



- ・利用者の改善要望の多くは運行本数や運賃に関する要望となっている。
- ・その主だった要望事項として、運行本数においては、今以上に運行本数を多くしてほしいことがあげられており、運賃については、今より安くしてほしいという要望が挙げられている。
- ・上記以外で目立った要望としては、バス停が暗いなどの要望が挙げられている

	回答数	主な意見
運行本数	11	・本数を増便して欲しい ・通勤時間帯の本数の増便など
運賃	7	・運賃を下げて欲しい ・150円くらいがいい ・値上げをしたら、自転車に切り替える
運行時間	10	・通勤時間帯を重点的に ・早朝の時間に欲しい ・30分に1本くらいがいい
施設	1	・バスの方向幕が暗い ・バス停が暗い
その他	4	・今のままで良い ・乗車したことがないのでわからない

※上記の結果は10月に実施したアンケート調査結果である。

(4) ヨッピーのサービスに対する意識

- ・ヨッピーがなかった場合、交通行動は自動車を利用して外出が約48%で最も高い割合を占め、次いで路線バスを利用して外出が約34%となっている。
- ・ヨッピーの運行による効果としては、「自由に買い物ができるようになった」が約26%で最も高い割合を占め、次いで「マイカー利用を控えて環境に配慮できるようになった」が約18%となっている。

図 44. ヨッピーがなかった場合の交通行動

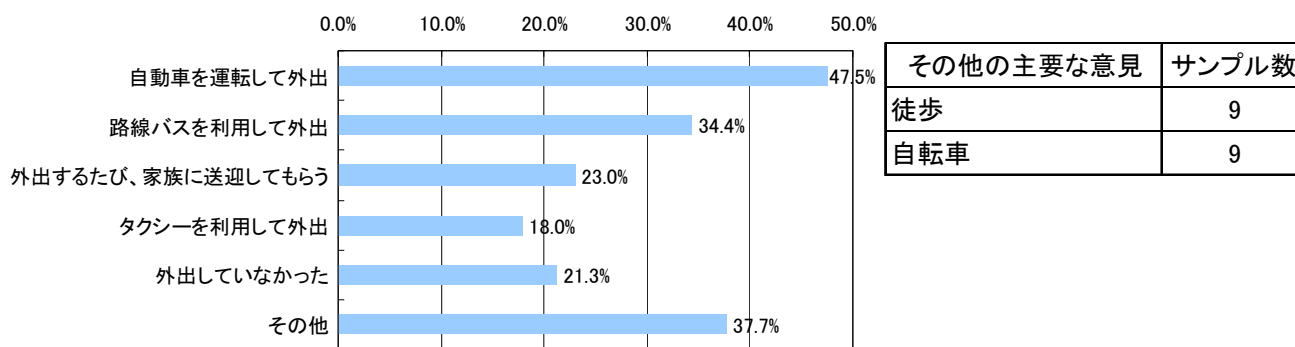
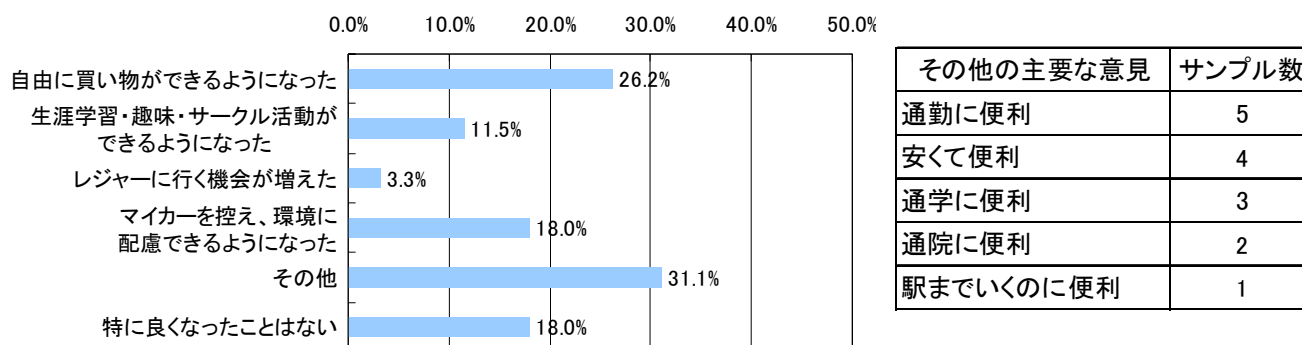


図 45. ヨッピーの運行による効果



※上記の結果は10月に実施したアンケート調査結果である。

(5) ヨッピーの運賃見直しに対する意識

- ヨッピーの利用目的別における適正運賃は、100円であるという回答が60%を超えて、高い割合を占めている。
- 利用頻度別にみても同様に100円が適正であるという回答が60%を超えて高い割合を占めている。
- 年代別についても同様に適正運賃は100円だと考えている傾向が強い。
- 今回の調査において、ヨッピーの適正運賃に対する考え方としては、目的、利用頻度、年代を問わずに100円であるという傾向が明らかとなった

図 46. 目的別、希望運賃

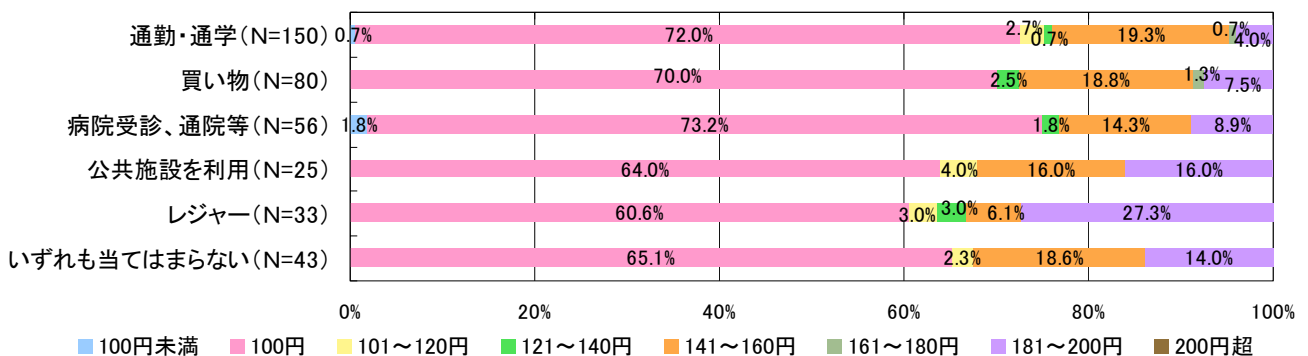


図 47. 利用頻度別、希望運賃

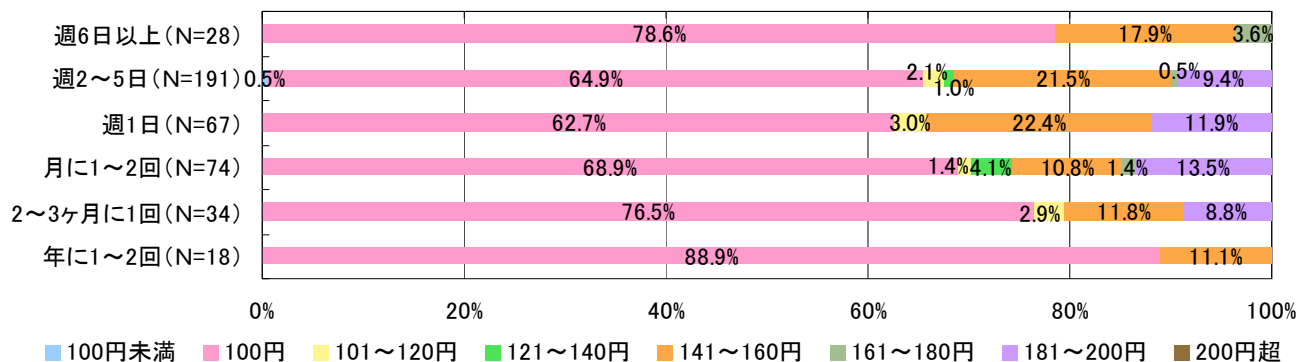
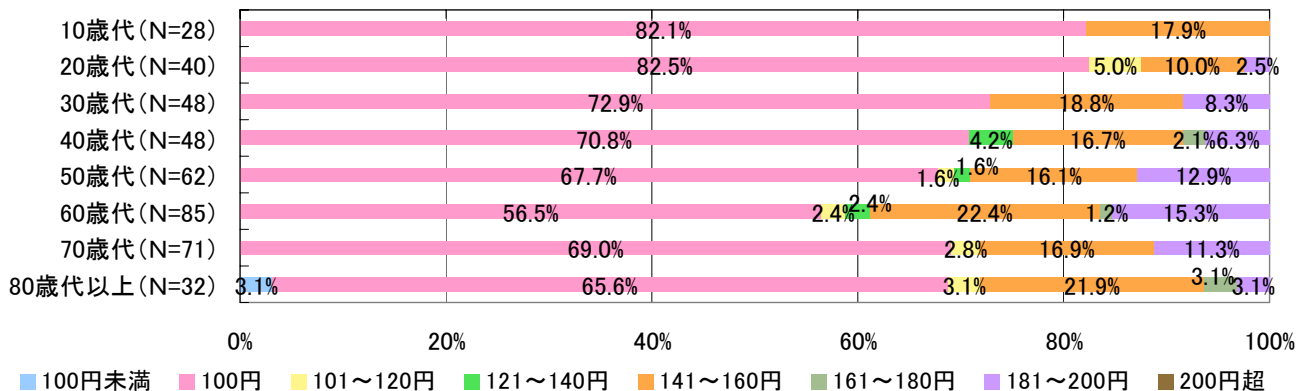
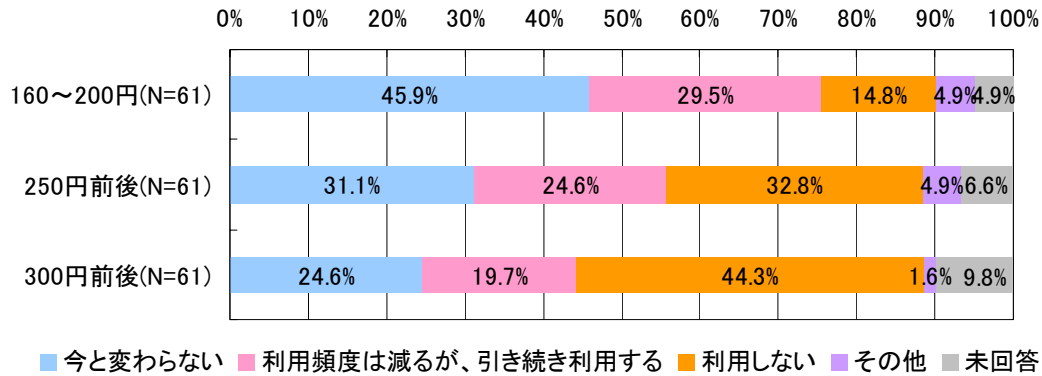


図 48. 年代別、希望運賃



160～200 円での改正であれば、今と変わらないという回答が約 46%と高くなっている。しかし、250 円前後、300 円前後になると、利用頻度が減るあるいは利用しないとする割合のほうが今と変わらないという割合よりも高くなる傾向にある。

図 49. ヨッピーの運賃見直しに対する意識



※上記の結果は 10 月に実施したアンケート調査結果である

5-4.ヨッピー利用者ニーズのまとめ

- ・ヨッピー利用者の主だった改善要望は運行本数や運賃、運行時間の延長に関する要望である。
- ・運行本数においては、今以上に本数を増やしてほしいことがあげられており、運賃については今以上に安くしてほしいという要望が多い。運行時間の延長については、通勤・通学でも利用しやすいような時間設定として 6～20 時までの運行希望が多い。